

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
高等学校	私立 慶風高等学校	田原 サヨ子
学校所在地		
〒 640 - 1363 和歌山市秋月 1 9 8 - 6 tel 073 (498) 0100 fax 073 (474) 5156		
担当者名	役職名・担当教科	
裕 和也	教諭・特別活動担当	
〔学校の概要〕 平成 1 7 年 4 月開校した私立通信制高校です。令和 2 年 1 2 月 1 日現在の生徒数 1 4 1 名で、今回参加する生徒は、週 5 日登校型とスポーツ中心型のコースに在籍している生徒です。「愛情を持って根気よく」を指導理念のものの、教員と生徒相互の温かい人間関係を通じ、生徒一人ひとりの能力・適性を考慮し、自分の希望進路に向かって努力する生徒を育成しています。		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 1・2・3 年生 2 5 名	5 名 職員 3 名	一の橋～弘法大師御廟
実践研究テーマ		
世界遺産としての高野山を知り、その素晴らしさを体感する。		
実践教科等名	単元名	
学校設定科目「高野山への道」	高野山について知り、体感しよう。	
〔キーワード〕 世界遺産学習 郷土学習 体験学習		
〔単元目標〕 (1) 高野山の歴史や高野山への道を調べ、先人の偉業を学ぶ。 (2) 世界遺産についての知識を深める。 (3) 県世界遺産マスターの説明を聞きながら、高野山の奥深さを体感する。（現地学習）		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 全体 2 0 時間 （「世界遺産」講話 1 時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕 和歌山県世界遺産センター・・・「世界遺産講座」 次世代育成事業・・・現地学習		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	授業 ・「和歌山県の歴史」を読み、高野山について調べる。 ・空海について調べる。	・高野山の歴史を調べると同時に、平安時代の宗教が21世紀まで続いて存続している理由を考えさせ、レポートにまとめさせる。	・高野山や空海について理解できたか。
2	授業 ・世界遺産として高野山と高野山町石道について調べる。 ・高野山参詣道について調べる。	・インターネットで検索する。 ・町石道と他の参詣道も調べ、レポートにまとめさせる。	・世界遺産としての高野山への視点をもつことができたか。
3	授業 ・高野西街道について調べる。	・資料を配布とインターネット検索。 ・レポートにまとめる。	・歴史遺産が身近にあることに気付いたか。
4	DVD鑑賞 ・NHK「空海 ～歴史ヒストリア」	・空海の間像を端的に理解できる。	・ワークシート
5	11月5日（木）次世代育成事業 ・「世界遺産について」 ・一の橋～弘法大師御廟までを、解説を聞きながら歩く。	・「世界遺産センター」の職員の方に講和をしていただく。 ・県世界遺産マスターの方に、詳しい説明をしていただきながら歩く。	・感想文
〔单元学習の成果と課題〕			
成果 学習内容を書物や資料を通して知るだけでなく、実際に「歩く」という行為を通じて、その「場」に身をおくという経験をすることで知識を体得できた。			
課題 今後、このような知識と体験ができるような機会を、年間指導計画に入れていくことを考える必要がある。			
〔世界遺産学習の効果〕			
「一の橋」から「弘法大師御廟」までを歩く体験学習は、「歴史」と「宗教の荘厳さ」を感じられることができた。			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
世界遺産学習とは、人類の歴史を学ぶことに他ならないが、先人たちが築いた遺産を未来へ繋ぐためには、自分たちがどのように何をすべきかという未来への視点をもつことができるようにしたい。			

様式 2

令和2年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

令和2年11月5日 現地学習

生徒感想文（抜粋）

- ・「紀伊山地の霊場と参詣道」は、神道と仏教と修験道が融合した世界遺産であるということがわかりました。京都や奈良の世界遺産との大きな違いで、興味深いなと思いました。県世界遺産マスターの方から大きなお墓がどうやってつくられたのか教えていただいて、すごく大変だっただろうと想像できました。歴史上の有名な人物のお墓がたくさんあって、びっくりしました。知らなかったことを学べて、きれいな紅葉も見ることができて、とても楽しかったです。
- ・私は、キリスト教徒ですが、仏教の聖地である高野山に行くことはすごく刺激的でした。その中でも、奥の院で見たお墓の数と大きさに驚きました。これからは、いろいろな宗教にも関心と興味を持ち、学んでいきたいと思います。
- ・奥の院に初めていきました。そこに足を踏み入ると、空気が変わったのを感じ、景色が清らかであると思いました。個性ある形のお墓もあり、興味深かったです。林のマイナスイオンを存分に味わうことができて良かったです。
- ・和歌山県民でありながら、高野山のことや世界遺産のことにあまり興味がありませんでした。しかし、今回の研修で高野山の街並みを眺めたとき、きれいな紅葉と古風な街並みとが合わさって、とても良い雰囲気だと思いました。奥の院では、世界遺産マスターの方が、有名な武将の墓にまつわるエピソードや豆知識などを教えていただいて、とても勉強になりました。」
- ・空気がとてもきれいで、清々しい晴れやかな気持ちになりました。和歌山県にこんなすばらしい世界遺産があることをうれしく思い、誇りに思いました。
- ・織田信長や豊臣秀吉、真田幸村など自分の知っている武将の墓がたくさんあり、興味を持って奥の院を見学しました。細かく丁寧に説明していただいた世界遺産マスターの方、ありがとうございました。
- ・高野山はとても美しい場所でした。今回の研修で、高野山のような歴史的な建造物を後世に残し、日本の文化を守る必要があり、一般人の私たちもそれに協力していかなくてはいけないと思いました。

